

平成27年度
事業報告書

社会福祉法人息吹

平成27年度社会福祉法人息吹事業報告

《総括事項》

1 グループホームの拡充について

自立に向けた訓練の場や社会的入院者の退院先の受け皿としてニーズの高かったグループホームについては、新たな物件を確保して事業実施するための準備を進めた。

2 パオみのおの相談支援事業について

計画相談支援と地域移行・定着支援は前年対比で横ばい、委託相談支援事業の相談件数については減少となった。求められているサービスの量に対して、マンパワーが不足している現状である。

3 就労継続支援B型事業所について

3事業所共通の課題として、利用回数・時間数ともに計画どおりに通所することが難しい利用者が多く、経営及び運営の両面において不安定な状況が続いている。特にもみじの家については、就労支援事業の再編を行うとともに、利用者の高齢化等多様な課題に対応するため、障害福祉サービスの変更も視野に入れた検討を法人全体で行うことを目的に、もみじの家事業検討チームを立ち上げた。

4 利用者及び家族の高齢化について

少子高齢化の影響は、精神障害者の日常生活及び社会生活に多様な問題となって表れている。当法人が事業運営のなかで認識している課題としては、精神障害当事者本人の高齢化、家族の高齢化によって家族が担えなくなった本人への支援体制の変化、逆に家族の高齢化によって家族への家事や介護などを本人が担うことの負担や不安の高まりの3点に整理できる。

こうした課題への対応としては、本人や家族のニーズに基づきながら、障害福祉サービスだけでなく高齢福祉サービスや民生委員児童委員などといった地域のインフォーマルサービスを活用しつつ、成年後見制度を始めとした権利擁護の制度も含めて柔軟に取り組んでいく必要がある。

5 地域交流啓発に関する取組みについて

平成24年度から萱野北小学校で実施している精神障害者理解促進事業ハートパークについて、4年目となる平成27年度は、6年生がワークショップで学んだこと

を下級生へ伝え、学習効果を高める取り組みを充実させるために、これまで2学期の開催であったのを1学期中に開催した。事業内容は、これまで通り学校の授業の一環として、6年生を対象に、ワークショップや施設での交流を行った。また、校内の研究授業にも位置づけられ、他学年の教員が参観したり、放課後に振り返り会議が行われた。地域向けの事業として、1月に発達障害の学習会を実施した。

《事業別報告》

1 理事会・評議員会開催状況

(1) 理事会開催状況(全4回)

第1回理事会(全議案を同日可決、承認)

開催日時:平成27年5月18日(月) 午後3時00分から

第1号議案 平成26年度社会福祉法人息吹事業報告及び決算認定の件

第2号議案 社会福祉法人息吹評議員の選任について

第2回理事会(全議案を同日可決、承認)

開催日時:平成27年8月31日(月) 午後3時00分から

第3号議案 給与規程の一部改正について承認を求める件

第4号議案 就業規則の一部改正について承認を求める件

第5号議案 特定個人情報取扱規程の制定について承認を求める件

第6号議案 平成27年度社会福祉法人息吹補正予算(案)について承認を求める件

第7号議案 社会福祉法人息吹理事長職務代理指名の件

第3回理事会(全議案を同日可決、承認)

開催日時:平成27年11月30日(月) 午後3時00分から

第8号議案 就業規則の一部改正について承認を求める件

第9号議案 特定個人情報取扱規程の一部改正について承認を求める件

第10号議案 平成27年度社会福祉法人息吹補正予算(案)について承認を求める件

第11号議案 社会福祉法人息吹評議員の選任について

第4回理事会(全議案を同日可決、承認)

開催日時:平成28年3月7日(月) 午後3時00分から

第12号議案 平成28年度社会福祉法人息吹事業計画(案)及び予算(案)について承認を求める件

第13号議案 社会福祉法人息吹理事長選任の件

第14号議案 社会福祉法人息吹理事長職務代理指名の件

(2)評議員会開催状況(全4回)

第1回評議員会

開催日時:平成27年5月18日(月) 午後2時00分から

第1号議案 平成26年度社会福祉法人息吹事業報告及び決算認定について意見を求める件

第2号議案 社会福祉法人息吹理事及び監事の選任について

第2回評議員会

開催日時:平成27年8月31日(月) 午後2時00分から

第3号議案 給与規程の一部改正について意見を求める件

第4号議案 就業規則の一部改正について意見を求める件

第5号議案 特定個人情報取扱規程の制定について意見を求める件

第6号議案 平成27年度社会福祉法人息吹補正予算(案)について意見を求める件

第3回評議員会

開催日時:平成27年11月30日(月) 午後2時00分から

第7号議案 就業規則の一部改正について意見を求める件

第8号議案 特定個人情報取扱規程の一部改正について意見を求める件

第9号議案 平成27年度社会福祉法人息吹補正予算(案)について意見を求める件

第10号議案 社会福祉法人息吹理事及び監事の選任について

第4回評議員会

開催日時:平成28年3月7日(月) 午後2時00分から

第11号議案 平成28年度社会福祉法人息吹事業計画(案)及び予算(案)について意見を求める件

2 地域交流啓発事業

5月24日(土) 春のバザー出店

6月16日(火) ハートパーク(萱野北小学校ワークショップⅠ)

6月19日(金)、22日(月)、25日(木)、26日(金)

ハートパーク(萱野北小学校もみじの家施設体験)

7月5日(日) 南小学校「みなみパワフルランド」出店

7月10日(金) ハートパーク(萱野北小学校ワークショップⅡ)

7月18日(土)～7月19日(日)

箕面地区納涼の夕べ出店

7月25日(土)～7月26日(日)

箕面まつり出店

7月31日(金) みのおライフプラザ夏まつり出店

8月1日(土) 東小祭り出店

8月22日(土) 萱野東小地区盆踊り大会出店

8月28日(金) あかつき福祉会納涼祭出店

9月8日(月)～17日(水)

ガレージセール(シェスタ)

12月3日(木) こころの会交流会

12月18日(金) みのおライフプラザ冬まつり出店

1月23日(土) ハートパーク(萱野北小会館・発達障害に関する学習会)

2月6日(土) もみじの家地域交流祭「いっぷく」

3 ボランティア・見学・実習の受入れ

(1) ボランティア・見学・実習の受入れ状況

ボランティア受入れ延べ人数	97人
学校関係体験実習受入れ延べ人数	54人
利用見学及び実習受入れ延べ人数	87人
関係機関等施設見学・実習受入れ延べ人数	145人
精神保健福祉援助実習受入れ延べ人数	67人

(2) 主な見学及び実習の受入れ機関等

箕面神経サナトリウム、箕面市新規採用職員研修、箕面市職員福祉体験学習、箕面市立萱野北小学校、箕面市精神保健福祉ボランティアこころの会、豊能北障害者就業・生活支援センター、大阪府障害者職業センター、箕面市、民生委員・児童委員、大阪バイオメディカル専門学校、大阪健康ほいく専門学校、大阪医療技術学園専門学校、

4 会議への派遣

- ・(社福)あかつき福祉会評議員会
- ・(社福)あかつき福祉会 グループホーム運営委員会
- ・(財)箕面市障害者事業団採用検討委員会
- ・(財)箕面市障害者事業団理事会
- ・(財)箕面市障害者事業団評議員会
- ・(財)箕面市障害者事業団自主事業運営委員会
- ・箕面市障害者市民施策推進協議会
- ・箕面市人権施策審議会
- ・箕面市地域自立支援協議会運営会議
- ・箕面市地域自立支援協議会相談支援部会
- ・箕面市地域自立支援協議会地域移行・定着支援部会
- ・箕面市地域自立支援協議会権利擁護部会
- ・箕面市地域自立支援協議会障害者就労系通所事業所 情報交換会
- ・アンテナショップ運営委員会
- ・大阪精神障害者地域生活支援連絡協議会
- ・箕面市生活困窮者自立支援事業推進協議会
- ・精神障害者地域移行アドバイザー連絡会
- ・指定管理者候補者選定委員会(箕面市立障害者福祉センターささゆり園)
- ・指定管理者評価員合議(箕面市立障害者福祉センターささゆり園)
- ・指定管理者評価員合議(箕面市立光明の郷ケアセンター)

5 職員研修実施状況

(1) 職場研修

- ・(社福)風媒花との合同研修
- ・(社福)風媒花との現場研修
- ・差別解消法に関する研修
- ・就労継続支援 B 型事業所現場研修(パオみのおスタッフ)
- ・施設見学研修(豊能北障害者就業・生活支援センター、箕面市障害者雇用支援センター、江坂・起業家支援センター)
- ・発達障害の理解と支援について(2回)
- ・発達障害者コーディネーター派遣事業(アクト大阪4回、JSN新大阪3回)
- ・障害者差別解消法と、改正障害者雇用促進法について

(2) 主な参加研修

① 資格取得研修

- ・相談支援従事者初任者研修

- ・相談支援従事者現任者研修
- ・サービス管理責任者研修(就労、地域生活)
- ② 業務能力開発のための研修
 - ・感染症予防対策講習会
 - ・発達障害の理解と対応について
 - ・グループホーム世話人等研修
 - ・発達障害のある人の大学進学と合理的配慮(障害者問題連続講座)
 - ・ストレスチェック制度研修
 - ・大阪精神障害者地域生活支援連絡協議会定例会(計2回)
- ③ 人権問題及びその他の研修
 - ・大阪府障がい者虐待防止・権利擁護研修

パオみのお(相談支援事業)事業報告

1 概要

障害福祉サービスを申請する全ての障害者が対象となるサービス等利用計画の作成については、新規受任をストップしているため計画作成件数とモニタリング件数は、前年度対比で横ばいである。

委託相談支援事業については、パオみのお開設以来初めて前年度の相談件数を下回る件数となった。

地域移行・定着支援については、個別給付化されて4年目であるが、社会的入院解消のためには、個別支援の強化だけでなく地域の受入体制整備への取り組みが必要である。

2 特筆すべき事項と課題

- (1) 計画相談における計画作成件数及びモニタリング件数については、現在の職員体制ではこれ以上の件数増を見込むことが困難な状況である。
- (2) 地域移行・定着支援については、個別給付化されて4年目であるが、件数的には横ばいである。サービス等利用計画の作成に係るマンパワーも同時に注力する必要があり、これ以上の対応は困難な状況である。地域の体制整備への取り組みとして、年度途中から始まった、大阪府の精神障害者地域移行アドバイザー事業を受託して取り組んだ。
- (3) 委託相談件数の減少については、計画相談の新規受任をストップしていることと、マンパワーの不足が影響していると思われる。相談内容では、福祉サービスの利用に関する相談の比率が高いが、成年後見に関する相談が増えている。また、地域生活サポート事業については、居住サポート事業のニーズが増えている。

3 今後について

- (1) 安定した職員体制の拡充へ向けた求人の取組みを継続するとともに、OJT 等の研修を実施して人材育成に努める。
- (2) 27年度から精神障害者地域移行アドバイザー事業により実施してきた地域の体制整備のためのコーディネート業務は、28年度も同事業を活用しながら、基幹相談支援センター(箕面市では箕面市社会福祉協議会在宅ケアセンター)と連携して、地域自立支援協議会地域移行・定着支援部会での検討を中心に行う。

4 主な活動実績

(1) 計画相談支援事業(指定特定相談支援事業)

(単位:件)

	27年度	26年度	前年度比
サービス等利用計画作成	130	122	106.6%
モニタリング	369	377	97.9%

(2) 地域相談支援事業(指定一般相談支援事業)

(単位:件)

	27年度	26年度	前年度比
地域移行支援	11	14	78.6%
地域定着支援	11	21	52.4%

(3) 相談支援事業実績(箕面市地域生活支援事業)

(単位:件)

	27年度	26年度	前年度比
相談支援	3,983	4,678	85.1%
地域生活サポート	169	241	70.1%

パオみのお(地域活動支援センター)事業報告

1 概要

前年度と比較すると新規登録者数が減少した。サービス利用計画の新規受任をストップしていることが要因の一つと考えられる。新規登録者についても、登録後1年以内の就労継続支援B型事業所への登録者が減少しており、これまでと傾向に変化がでている。

2 特筆すべき事項と課題

- (1)障害種別は多様化しており、特に発達障害、知的障害のある方の利用が増えている。
- (2)就労への志向が高い利用者は、法人内の就労継続支援B型事業所及び他の就労支援機関へ比較的短期間で移行されている。
- (3)就労訓練等につながりにくい利用者においては、サロン利用を中心に当事者活動やレクリエーション等の余暇活動関連プログラムを活用して、日常生活の基盤作りを図っている。
- (4)グループワーク事業については、月2回の活動が定着し新規利用者についても安定した参加が認められた。

3 今後について

- (1)ニーズの高いパソコン教室を大阪府ITステーションのITサポーター派遣を活用して毎月開催する。
- (2)レクリエーションについては、就労系事業所の利用者が参加しやすいように土曜日・祝日の開催を継続する。
- (3)多様化する利用者ニーズに対応するため、内部研修の実施や外部研修の積極的活用により職員育成に努める。

4 主な活動実績

- (1)当事者活動支援 160人(239人)
カメカメクラブ、魁スポーツ推進振興クラブ、カチカチクラブ、お菓子クラブ、当事者のみの外出レク（梅田ツアー）等
- (2)レクリエーション・プログラム活動 126人(97人)
 - ①レクリエーション：一泊旅行、とれとれクラブ（釣り）、花見、外食ショッピングツアー等
 - ②プログラム：パソコン教室、DVD鑑賞会、鍋パーティー等

(3) 独自事業

①グループワーク事業	延利用者数	81人 (56人)
②食事作り事業	延利用者数	335人 (539人)
③送迎事業	延利用者数	65人 (241人)

※ (カッコ) 内は昨年度実績

5 利用者状況

(1) 利用実績

	27年度	26年度	前年比
延べ利用者数	3,464人	3,560人	97.3%
開所日数	312日	305日	102.3%
1日あたり平均利用者数	11.1人	11.7人	94.9%

(2) 登録者数

(平成28年3月31日現在)

	27年度	26年度	前年比
男性	157人	153人	102.6%
女性	108人	104人	103.8%
合計	265人	257人	103.1%
新規登録者数	15人	19人	78.9%

(3) 障害者福祉手帳所持者数

(平成28年3月31日現在)

	登録数	平均年齢	1級	2級	3級	その他	(重複)	なし
男性	157人	45.4歳	4人	72人	12人	12人	(3)	60人
女性	108人	44.5歳	4人	42人	10人	4人	(2)	50人
合計	265人	45.0歳	8人	114人	22人	16人	(5)	110人

かたばみ寮(共同生活援助)事業報告

1 概要

共同生活援助(以下「グループホーム」という。)については、入居希望のニーズが高く、定員増が望まれていた。7月に、事業実施中であるぶなの木荘の建物内で空き物件が発生し、新たな居室として適切な物件であったため、10月に賃貸契約を結び、居室追加の準備にとりかかった。行政手続きや事業実施のための整備を行った結果、平成28年5月より事業実施できることとなった。全体の定員が12人から14人となり、2人の定員増となる。

2 特筆すべき事項と課題

- (1)定員が2人増となったものの、グループホームのニーズは依然として高く、さらなる拡充が望まれている。
- (2)個別支援計画については、6月に計画作成、12月にモニタリングを行っている。昨年度に引き続き、日中活動先の就労継続支援B型事業所及び地域活動支援センターとの連携強化を図りつつ計画を作成するよう留意した。
- (3)利用者の障害種別が精神障害だけでなく知的障害や発達障害など多様化しているとともに利用者の高齢化も進んでいる。
- (4)地域移行支援対象者にとってグループホームは、退院後の地域定着をすすめる上でも有効な社会資源であるため、退院後の生活の場として、さらに拡充する必要性が高まっている。

3 今後について

- (1)施設の拡充については、物件の確保だけでなく支援体制の確保も必要となってくる。
- (2)個別支援計画の目標に達していない利用者へのアプローチを関係施設、関係機関と連携をとりながら強化する。
- (3)障害種別の多様化と利用者の高齢化により、支援力の向上・強化が求められている。世話人・生活支援員の体制を見直すとともに、内部研修の実施や外部研修への参加を積極的に行っていく。
- (4)26年度から27年度にかけて、世話人、生活支援員の定年退職が相次ぎ、新たな人材を確保した。職員の変更は、利用者の心理状態に大きな影響を及ぼす可能性があるため、引き続き世話人、生活支援員の資質向上に努める。

4 利用者状況(平成28年3月31日現在)

①利用者数

	定員	利用者
かたばみ寮	2人	2人
第2かたばみ寮	4人	3人
ぶなの木荘	6人	5人
合計	12人	10人

②利用者の特性

平均年齢	42.6歳	
平均在籍年数	8年5か月	
障害程度区分	区分2	3人
	区分3	5人
	区分4	2人

③利用者の日中活動先

もみじの家	3人
あっとほーむ	5人
シェスタ	0人
就労	1人
その他	1人

就労継続支援B型もみじの家事業報告

1 概要

平成27年度は、前年に引き続き精神障害者理解促進事業ハートパークの一環として、萱野北小学校の6年生を対象にもみじの家で自主製品のナイロンタワシの作製を通して交流をした。

個別支援については、必要に応じて他機関と連携し、ケース会議等を通して本人のニーズに沿った支援を行う必要がある。

もみじの家事業検討チームにおいて、利用者ニーズに基づきながら障害福祉サービスの変更も含めた検討を継続して行っていく。

箕面市広域福祉課による実地指導があり、さらに適切な運営に資する機会とすることができた。

2 特筆すべき事項と課題

(1) 就労支援事業

就労継続支援事業として受託作業を行い、利用者の働く機会の提供と就労意欲の向上にむけた支援を行った。また、ハローワークや就業・生活支援センターと連携を密にとり、求人情報や就職説明会情報の掲示や就労に関する相談の機会を増やす取り組みを行った。

27年度は3名の利用者が、雇用型の就労継続支援A型事業所へとステップアップされた。

26年度に引き続き、大阪府工賃向上計画支援事業に基づき計画を作成し、利用者工賃向上に取り組んでいるが、小動物関連商品製品化作業を取りやめたことにより収入増と工賃向上は達成できなかった。今後も利用者工賃向上への取り組みを継続していく。

(2) 利用者支援

生活能力の向上の支援として月に1回、調理実習を行い生活技術の向上を図ることが出来たため今後も取り組んでいく。

親亡き後の生活に向けて、希望者にむけて成年後見制度の説明を行った。今後も親亡き後の生活支援を継続していく必要がある。また、利用者及びその家族の高齢化が課題となっており、ファミリーサポートの観点から地域生活を安心して続けていくための支援が必要である。

個別支援計画を作成し、年2回の定期面談を通して具体的な目標や取り組みを検討した。その結果、利用日数の増加及びより長時間の作業に取り組めるなど就労意欲の向上につながった。

(3) その他

精神障害者理解促進事業ハートパークの一環として、萱野北小学校の6年生を

対象にもみじの家で自主製品のナイロンタワシの作成を通して交流をした。また、恒例のもみじの家地域交流祭いっぷくにおいて、120名もの地域の来場者で賑わうなか交流を図った。

3 今後について

利用者個々にマッチングした作業工程を工夫するとともに、作業に取り組みやすくするための治具や理解を容易にする図解を作成するなど、職種・職域の拡大と工賃の増加を図っていく。

就労希望者には、ハローワークや就業・生活支援センターと連携を密にとり、就労前訓練として企業等での実習場所の確保や就職相談を行っていく。また、生活リズム作りを目標としている利用者には、個々のリズムに合わせた作業や居場所の提供を行う。

新規利用者の受け入れについては、相談支援事業所パオみのおとの連携や関係機関等への説明を通して進めていく。

工賃向上の取組みに伴って、もみじの家事業検討チームを中心として利用者ニーズを確認しながら今後の障害福祉サービスの変更も含めた検討を継続して行っていく。

4 主な活動実績

(1) 就労支援事業

①主な就労支援事業収入

事業内容	27年度	26年度	対前年度比
受託事業(箕面市ごみ袋製袋等)	3,186,838 円	3,838,179 円	83.0%
その他(自主製品)	27,350 円	246,836 円	11.1%
計	3,214,188 円	4,085,015 円	78.7%

②利用者一人当たりの月額平均工賃額

27年度	26年度	対前年度比
13,697 円	17,815 円	76.9%

③ボランティア・見学・実習参加状況

ボランティア受入れ延べ人数	59人
利用見学及び実習受入れ延べ人数	7人
関係機関等施設見学・実習受入れ延べ人数	31人
萱野北小学校体験実習受入れ延べ人数	54人
精神保健福祉援助実習受入れ延べ人数	10人

(2) その他の活動

- ①施設外活動(他市障害福祉サービス事業所交流会、箕面市精神保健福祉ボランティアグループこころの会交流会参加、市内お祭りへの出店参加)
- ②啓発活動(精神障害者理解促進事業ハートパーク、もみじの家地域交流祭いっふく)
- ③余暇活動(もみじの家忘年会実施)

5 利用者状況

(1) 利用実績総括表

平成 28 年 3 月 31 日現在

項目	27年度	26年度	対前年度比
利用契約者数	24 人	23 人	104.3%
平均年齢	45.1 歳	47.0 歳	—
稼働日数	249 日	246 日	101.2%
延べ利用者数	3,288 人	3,206 人	102.6%
1 日平均利用者数	13.2 人	13.0 人	101.5%

(2) 障害者福祉手帳所持状況

平成 28 年 3 月 31 日現在(単位:人)

	利用者数	2 級	3 級	B1	B2	なし
男	22	14	3	2	1	2
女	2	2				
合計	24	16	3	2	1	2

就労継続支援B型あっとほーむ事業報告

1 概要

利用者支援に関しては、個別支援計画において具体的な目標や取り組みを検討し、年2回のモニタリングを通して検証するとともに、関係機関との連携により生活及び就労に係る支援を実施した。

箕面市広域福祉課による実地指導があり、さらに適切な運営に資する機会とすることができた。

2 特筆すべき事項と課題

(1) 就労支援事業

配食サービスの収入はほぼ横ばいだったが、安定利用する利用者が例年よりも多かったため、月額平均工賃額が増えた。

利用者数名が一般就労にチャレンジするための準備を進めている。

定員に対して利用契約者が多過ぎて人間関係などの課題があったため、一時的に新規契約を中止することで、安定した作業環境を回復できた。

(2) 個別支援計画

個別支援計画の作成や年2回のモニタリング及び随時の面談を通じて具体的な個別の支援を行った。成果としては、利用者の意思を尊重した短期目標の設定と課題達成のための取り組みを行うことにより、職業準備性の向上がみられ、企業や機関での実習や見学に繋がった。また、計画作成の過程で関係機関との連携が広がった。

(3) その他

個別支援計画の作成や年2回のモニタリング及び随時の面談を通じて具体的な個別の支援を行った。成果としては、利用者の意思を尊重した短期目標の設定と課題達成のための取り組みを行うことにより、職業準備性の向上がみられ、企業や機関での実習や見学に繋がった。また、計画作成の過程で関係機関との連携が広がった。

利用契約者数が多過ぎて支援や運営に課題があったため、一時的に新規契約を中止したことにより、障害福祉サービス事業収入が減少し赤字決算となった。

3 今後について

就労支援事業について、効率的かつ効果的な事業運営をめざして、必要に応じた業務改善に努め、利用者の生活安定や就労のステップアップに資する事業体系

を構築し続けていく必要がある。また、より地域に根ざした活動を行っていきけるよう、地域住民との交流を図り、地域のニーズを把握しつつ、事業経営を進めていく。

利用者一人ひとりに合わせたきめ細かな就労支援サービスへ向けて、就労支援事業の課題を整理し検証しながら、必要に応じた見直しを行う。

新規の利用者の受け入れについては、定員と利用契約者数のバランスを考慮しつつ、必要に応じて箕面市を始め、茨木市や池田市等の近隣の関係機関等への説明を行い、新規利用者の受け入れを行っていく。

4 主な活動実績

(1) 就労支援事業

① 主な就労支援事業収入

事業内容	27年度	26年度	対前年度比
自主製品事業(ビーズ・陶芸)	2,700 円	500 円	540.0%
受託事業(もみじの茎切り)	113,646 円	135,859 円	83.6%
自動販売機管理	267,630 円	345,590 円	77.4%
配食サービス事業	12,458,395 円	13,063,847 円	95.4%
その他(印刷など)	275,232 円	159,110 円	173.0%
計	13,117,603 円	13,704,906 円	95.7%

② 利用者一人当たりの月額平均工賃額

27年度	26年度	対前年度比
16,991 円	14,285 円	119.0%

③ ボランティア・見学・実習参加状況

利用見学及び実習受入れ延べ人数	21 人
関係機関等施設見学・実習受入れ延べ人数	34 人
精神保健福祉援助実習受入れ延べ人数	5 人

(2) その他の活動

- ① 施設外活動(他市障害福祉サービス事業所見学会、箕面市精神保健福祉ボランティアグループこころの会交流会参加、市内お祭りへの出店参加)
- ② 啓発活動(精神障害者理解促進事業ハートパーク、もみじの家地域交流祭「いっぷく」への参加)
- ③ 余暇活動(あっとほーむ忘年会、新年会、茶話会、外出レクなど)
- ④ 一般就労等に関する研修(大阪府発達障害者支援コーディネーター派遣事業)

5 利用者状況

(1) 利用実績総括表

平成 28 年 3 月 31 日現在

項目	27年度	26年度	対前年度比
利用契約者数	28 人	34 人	82.4%
平均年齢	41.3 歳	44.4 歳	
稼働日数	242 日	244 日	99.2%
延べ利用者数	3,329 人	3,583 人	92.9%
1 日平均利用者数	13.8 人	14.7 人	93.9%

(2) 障害者福祉手帳所持状況

平成 28 年 3 月 31 日現在(単位:人)

	利用者数	1 級	2 級	3 級	B 1	B 2	重複	なし
男	16	1	10	1	2	0	0	2
女	12	0	11	0	1	2	2	0
合計	28	1	21	1	3	2	2	2

就労継続支援B型シェスタ事業報告

1 概要

平成27年度も利用者の入れ代わりが多く、利用契約者数も減少した。入れ代わりに伴って作業に不慣れな新規利用者が増加して生産量が減少したが、新規販売先の開拓など商品の販売促進の取り組みを重点的に行ったことによって、月額平均工賃目標額を上回ることができ、利用者の就労意欲も向上し自信にもつながった。

利用者の支援に関しては、個別支援計画を作成し、年2回のモニタリングをすることによって具体的な目標や取り組みを検討した。

箕面市広域福祉課による実地指導があり、さらに適切な運営に資する機会とすることができた。

2 特筆すべき事項と課題

(1) 就労支援事業

就労支援事業については、緊急経済対策として消費喚起大阪名物商品販売業務「大阪産(もん)」の事業に参加し、「箕面の柚子」関連商品の販売を行った。ここでは、楽天市場やヤフーショッピングなどインターネットを活用したことで、全国各地から注文があり、10月から2月までのわずか5か月の販売期間に、売上高の8%に当たる約35万円もの収入向上につながった。

商品開発については、季節限定商品の製造に取り組むとともに、「ゆずともみじの里・みのおプロジェクト」に参加し新商品の開発を行った。今後は、新商品や季節限定商品の研究開発やリサーチなどについて、顧客満足度調査などに取り組むとともに、一方で環境の変化を苦手とする利用者が新商品の製造作業にそれぞれのペースで取り組めるよう、作業支援の強化も行う必要がある。

利用者が作業しやすい安全な環境づくりにも工夫し、作業分担、作業時間等について、各々の体調やニーズ等をもとに改善していく。

焼き菓子等の売り上げ及び工賃実績については、昨年より減少したものの、利用者が減少したことで、月額平均工賃目標額を上回る結果となった。

(2) 個別支援計画

利用者個人の面談を通し、個別支援計画の作成と年2回のモニタリングを行い、具体的な個別の支援を行った。このことによって、短期的な目標設定と利用者の意思確認を行い、他機関への実習や見学、関係機関との連携強化といった成果につながった。モニタリング以外でも、都度必要に応じて面談等を行い、利用者の日常生活の悩みの解決を行った。

3 今後について

平成28年度は喫茶の利用客を増やすために、チラシの作成やポスティングなどを行う一方、就労支援事業としてだけでなく、地域住民との交流や啓発活動としてガレージセールの開催など工夫を凝らしながら、地域に根ざした活動を行う。

また、喫茶メニューにおいても、新たに「箕面の柚子」を使用したケーキセットを追加する等の充実を図る。

このように焼き菓子の新商品開発や喫茶メニューの充実によって就労支援事業の内容が拡充することで、利用者の作業内容も多様化し職域拡大が想定されるため、新規利用者の受け入れについても関係機関等へのチラシ配布などを行いながら進めていく。

4 主な活動実績

(1) 就労支援事業

① 主な就労支援事業収入

事業内容	27年度	26年度	対前年度比
焼き菓子販売	3,956,586 円	4,596,624 円	86.1%
受託事業(もみじの茎切り等)	220,000 円	202,000 円	108.9%
計	4,176,586 円	4,798,624 円	87.0%

② 利用者一人当たりの月額平均工賃額

27年度	26年度	対前年度比
14,454 円	12,939 円	111.7%

③ ボランティア・見学・実習参加状況

ボランティア受入れ延べ人数	23 人
利用見学及び実習受入れ延べ人数	32 人
関係機関等施設見学・実習受入れ延べ人数	41 人
精神保健福祉援助実習受入れ延べ人数	8 人

(2) その他の活動

① 施設外活動(市内小学校イベント参加、箕面市精神保健ボランティアグループこころの会交流会参加、春のバザー、市内お祭りへの出店参加)

② 啓発活動(精神障害者理解促進事業ハートパーク、もみじの家地域交流祭いっぷく)

③ 余暇活動(なかよし会年 3 回実施)

5 利用者状況

(1) 利用実績総括表

平成 28 年 3 月 31 日現在

項目	27年度	26年度	対前年度比
利用契約者数	19 人	22 人	86.4%
平均年齢	35 歳	43.9 歳	
稼働日数	244 日	247 日	98.8%
延べ利用者数	2,737 人	3,242 人	84.4%
1 日平均利用者数	11.1 人	13.1 人	84.7%

(2) 障害者福祉手帳所持状況

平成 28 年 3 月 31 日現在(単位:人)

	利用者数	1 級	2 級	3 級	A	B 1	B 2	身体 3 級	重複
男	8	1	6	1	0	0	1	0	1
女	11	0	7	1	1	1	0	1	0
合計	19	1	13	2	1	1	1	1	1